

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ：(種子島の文化と祭り)

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み, 説明を書く)

※ 注意…単なる引き写しではなく、オリジナリティーを追究し、面白い内容を目指すこと。



よいら〜いき祭り

①種子島では、毎年様々な祭りが行われます。

・よいら〜いき祭り

今年で56回目の開催になる、この祭りは中種子町で行われ、パレードや花火の打上などがあり、夜遅くまでにぎわいます。祭りの名前にもなっている、よいら〜いきとは「みんな一緒になって」という意味で、毎年8月上旬に行われる、中種子町最大のイベント。祭りと思ふ。

・流水プールもあるため、一番夏を感じれる



ロケット祭り

②このレポートでは、開催される祭りの内、主に大きな、

・ロケット祭り

今年第46回の開催を迎える、「南種子町ロケット祭」は、パレードやステージショーなどが行われ、祭りの最後には、レーザーと曲が融合した約10000発の花火大会がありました。

この祭りは、鹿児島県内で7位の人気を誇る花火大会です。

・人が多く集まり、売られる食べ物が高かったり。



種子島鉄砲まつり

③この3つの祭りを紹介します。

・種子島鉄砲まつり

鉄砲伝来を記念し、毎年開催され、今年55回目になる、種子島鉄砲祭り。祭りの始まりを知らせるのは火縄銃で、終わりには約7000発の花火が打上られます。

・中学、高校の西之表市部活動生は、学校参加させられ、昼に行われる手踊り行進をして地域協力ができる。西之表で行われるため、いろんな知り合いと、会うことができます。

身近にあった祭りでは「魚祭り」というのがありました。コロナが流石した年から今日まで開催は一度もありませんでした。地元でとれる、魚を生きたまま手でとれば、その魚を持って帰れるという内容で、一瞬ですがすごく楽しめる祭りでした。

鉄砲祭り・火縄銃有り。

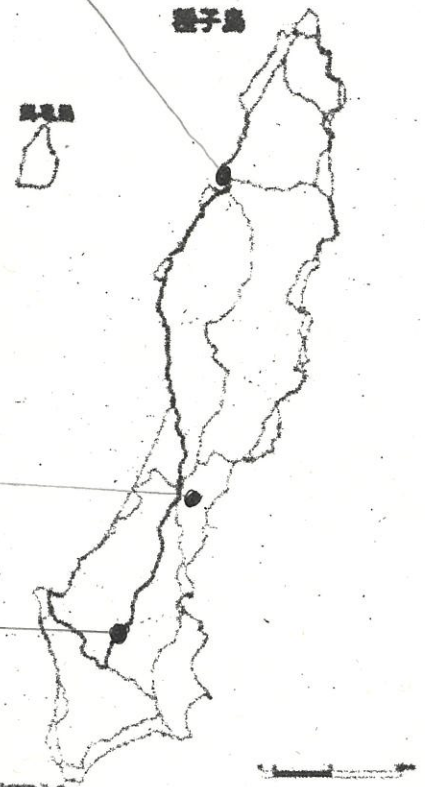
開催場所は、西之表市・日本みなと公園。昼の部で行われる、太鼓山の川渡りは、この祭りの見所の1つです。大の大人が首まで浸っていた事から、身近にある川でも、相当深いことが見て分かりました。

よいら〜いき祭り・火縄銃有り。

昼の部のパレードは、役場前通り・旭町商店街通りで行われ、夜の部は、太陽の里多目的広場で行われます。夏休みに入ってすぐ始まるため、一回も行ったことはありません。

ロケット祭り・火縄銃有り。

南種子のはほ中心部にある、前文峰陸上競技場で行われる。種子島で最も規模の大きな祭りだと思ってます。



※ 参考文献/出典 (著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP (サイト名, URL)

(例) ・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)

・西之表市役所HP (http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html)

・鹿児島県観光サイト(<https://www.kagoshima-kankou.com/event50>)  
・花火大会2024 (<https://sp.jorudan.co.jp/hanabi/spot-87578.html>)

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。 B: 一通り書けている。 C: 不十分な分量・内容。